

良き福祉政策は継続すべき!!
 これこそ福祉のまち大村
 である

和崎正衛議員

(1) 総務行政について

市長にお聞きしたい。立候補
 決意表明はあったが、具体的な
 政策、つまりローカルマニフェ
 ストについての具体案は？

(2) 福祉行政について

第2子保育料、小児医療費、
 認定こども園新設等々、他市に
 ない豊かな福祉政策が第4次行
 政改革を進めていく中で、後退
 する事なく継続ができるのか、
 また後退はあってはいけない。
 市長の考え方を!!

医師不足のため、市立病院小
 児科の存亡が危惧されるがどう
 なのか。

市長

(1) 第1点目に環境問題。循
 環型社会を目指し、市民と協働
 で取り組みたい。2点目に、地
 域の皆さんと共に、まちづくり
 に取り組む。3点目に、男女共
 同参画社会を目指す。

これらについて、第4次行革
 を中心にやっていきたい。この
 行革の達成が最重要課題であり、
 不転の決意で取り組む。更に、
 新幹線の早期着工実現を目指し
 つつ、高速交通機関を活かし、
 大村の活性化を図りたい。



子育て世代職員によるプロジェクトチーム

また、個々の課題として、市
 街地活性化、研究学園都市に向
 けた大学等の誘致、生活路線の
 整備等に努めたい。

(2) 保育料第2子無料化の継続
 も含め、少子化対策に努めたい。
 機構改革により子どもセンター
 を設置し、子どもが健やかに成
 長できる環境づくりを目指し、
 地域に密着した子育て支援を行
 う計画である。また職員による
 プロジェクトチームからの提案
 を新規事業として実現させたい。

病院事業管理者

長崎大学から
 小児科医の引き揚げの話があっ
 ている。医師が確保できなけれ
 ば休診という形になると思っが、
 廃止にするつもりはない。

障害者は自立支援法で
 自立を阻害されています
 東大村、処分場の
 硫化水素は止められないのか

久野正義議員

(1) 福祉行政について

自立支援法で原則1割の応益
 負担が導入された結果、障害者
 の施設退所、サービス利用の中
 断、手控えの実情はどうか。
 市独自の負担軽減措置を実施
 してはどうか。

障害程度区分の認定はどうお
 こなわれるのか。その際、精神
 障害者は実態より低く評価され、
 非該当となることを心配してい
 る。どう配慮されるか。
 小規模作業所の新法への移行
 はどうか。

(2) 環境行政について

東大村の処分場では新たに多
 大な硫化水素が発生した。周辺
 住民にはどんな影響があったの
 か。

環境庁が平成12年、硫化水素
 について対策と報告書を通知し
 ている。発生の防止にどう活用
 されたのか。

硫化水素と鉄が化合した硫化
 鉄が河川や海を汚す指摘が住民
 からある。魚などの小さな生物
 への影響はどうか。

市長 (1) 施設退所者が6名、通

所者の弁当持参者が数名増え、
 さらに4名の方が通所を断念さ
 れている。

利用者負担の軽減については、
 県をはじめ国に対し、統一した
 施策として配慮していただくよ
 う要望する。

1次判定は、調査員が訪問し
 て行うアセスメント結果をコン
 ピューターで判定する。2次判
 定では医師の意見書に基づき、
 5名で構成する合議体に精神科
 医、精神保健福祉士各1名を加
 えた審査員により、障害程度区
 分が決定される。実態に即した
 認定がされると考えている。

福祉保健部長 移行した場合の
 補助金額の正確なことはまだは
 つきりしていないが、補助の国
 の加算額の他に自治体が別途負
 担することになると考える。

市民環境部長 (2) 影響があるの
 ではないかと思うので、出向い
 て話を伺いたい。

助役 県への通知であり、把握
 していない。県へ資料を求め、
 今後市としてもそれを踏まえて
 対応していきたい。

市民環境部長 現在影響は出て
 いないが、このままCOD等の
 値が高いまま続けば影響の恐れ
 が考えられるため、今後も継続
 して調査を行いたい。